

平成 27 年度 病院事業決算状況

都道府県名 大阪府

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	大阪府立病院機構	2	東大阪市	総合病院	20
大阪市	総合医療センター	3	阪南市	阪南市民病院	21
大阪市	十三市民病院	4	忠岡町	公立忠岡病院	22
大阪市	住吉市民病院	5			
堺市	堺病院	6			
岸和田市	岸和田市民病院	7			
豊中市	市立豊中病院	8			
池田市	池田病院	9			
吹田市	吹田市民病院	10			
泉大津市	市立病院	11			
貝塚市	貝塚病院	12			
枚方市	市立ひらかた病院	13			
八尾市	市立病院	14			
泉佐野市	泉佐野病院	15			
和泉市	市立病院	16			
箕面市	市立病院	17			
柏原市	市立柏原病院	18			
藤井寺市	市立藤井寺市民病院	19			

病院事業決算状況 (27 年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	
		病院名	大阪府立病院機構
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	8,839,469	
決算規模（千円）	2,823,624,279	
標準財政規模（千円）	1,631,292,204	
財政力指数	0.74980	
経常収支比率（%）	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	19.4
	将来負担比率（%）	189.0

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	144,254			
1 経常収益	144,254			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	144,254			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	144,254			
2 経常費用	144,254			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	49.7
材料費	-	-	24.1	27.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.6
減価償却費	-	-	9.0	8.6
経費	-	-	23.3	20.4
(うち委託料)	-	-	10.8	11.0
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	144,254			
(うち支払利息)	144,254	-	1.9	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	100.0
医業収支比率	-		89.5	93.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	9.1
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	90.9

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	大阪市
		病院名	総合医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	83.5	80.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	78.5	78.0
感染症	-	-	70.8	62.1
計	-	-	82.9	79.9
平均在院日数(一般病床のみ)		-	12.9	13.0

設立団体の状況		
人口(人)	2,691,185	
決算規模(千円)	1,630,072,763	
標準財政規模(千円)	766,606,226	
財政力指数	0.92	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	117.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	848,816			
1 経常収益	848,816			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	848,816			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	848,816			
2 経常費用	848,816			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	49.7
材料費	-	-	24.1	27.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.6
減価償却費	-	-	9.0	8.6
経費	-	-	23.3	20.4
(うち委託料)	-	-	10.8	11.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	848,816			
(うち支払利息)	848,816	-	1.9	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	31,606,781			
経常収支比率	100.0		98.7	100.0
医業収支比率	-		89.5	93.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	9.1
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	90.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	大阪市
	病院名	十三市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	79.5	75.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	76.5	63.3
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	79.1	73.7
平均在院日数(一般病床のみ)		-	14.0	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	2,691,185	
決算規模(千円)	1,630,072,763	
標準財政規模(千円)	766,606,226	
財政力指数	0.92	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	117.1

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	200,215			
1 経常収益	200,215			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	200,215			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	200,215			
2 経常費用	200,215			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	57.6
材料費	-	-	24.1	20.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.8
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	27.2
(うち委託料)	-	-	10.8	11.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	200,215			
(うち支払利息)	200,215	-	1.9	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	10,636,771			
経常収支比率	100.0		98.7	96.6
医業収支比率	-		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	83.9

備考：
 「類似平均」については経営規模区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	大阪市
	病院名	住吉市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	28.6	29.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	28.6	29.3
平均在院日数(一般病床のみ)		-	12.3	7.0

設立団体の状況		
人口(人)	2,691,185	
決算規模(千円)	1,630,072,763	
標準財政規模(千円)	766,606,226	
財政力指数	0.92	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	117.1

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,153			
1 経常収益	16,153			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	16,153			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,153			
2 経常費用	16,153			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	58.9
材料費	-	-	24.1	18.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	7.4
減価償却費	-	-	9.0	9.6
経費	-	-	23.3	30.8
(うち委託料)	-	-	10.8	12.1
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	16,153			
(うち支払利息)	16,153	-	1.9	2.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	805,282			
経常収支比率	100.0		98.7	98.1
医業収支比率	-		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	83.3

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	堺市
		病院名	堺病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	839,310	
決算規模（千円）	359,595,460	
標準財政規模（千円）	187,481,446	
財政力指数	0.84	
経常収支比率（%）	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.5
	将来負担比率（%）	15.6

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
（1）医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
（うち他会計負担金）	-			
（2）医業外収益	-			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	-			
（うち長期前受金戻入）	-			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	351,844			
2 経常費用	351,844			
（1）医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	53.1
材料費	-	-	24.1	25.1
（うち薬品費）	-	-	12.6	12.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.0	11.8
減価償却費	-	-	9.0	8.8
経費	-	-	23.3	21.3
（うち委託料）	-	-	10.8	8.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
（2）医業外費用	351,844			
（うち支払利息）	351,844	-	1.9	1.8
（3）特別損失	-			
経常損益	-351,844			
純損益	-351,844			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		98.7	98.7
医業収支比率	-		89.5	91.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	10.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	11.8
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	10.5
実質収益対経常費用比率	-		86.8	88.4

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
（1）有形固定資産	-
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
2 流動資産	-
（1）現金及び預金	-
（2）未収金及び未収収益	-
（3）貸倒引当金（ ）	-
（4）貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	-
2 流動負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	-
（9）前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
（1）長期前受金	-
（2）長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
（1）資本金剰余金	-
（2）利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	岸和田市
	病院名	岸和田市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I 訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	30,575 m ²	指定病院の状況	救臨が 地 輪
診療科数	32	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	400	78.1	84.6	79.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	78.1	84.6	79.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	12.6	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	194,911	
決算規模(千円)	75,788,645	
標準財政規模(千円)	43,121,339	
財政力指数	0.59	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	60.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,782,381			
1 経常収益	12,772,625			
(1) 医業収益	11,449,661			
入院収益	6,962,683			
外来収益	3,930,681			
診療収入計	10,893,364			
その他医業収益	556,297			
(うち他会計負担金)	333,841			
(2) 医業外収益	1,322,964			
(うち国・都道府県補助金)	20,132			
(うち他会計補助・負担金)	966,159			
(うち長期前受金戻入)	12,528			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,756			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,628,842			
2 経常費用	12,610,095			
(1) 医業費用	11,692,092			
職員給与費	5,828,457	50.9	54.5	53.1
材料費	2,973,811	26.0	24.1	25.1
(うち薬品費)	1,399,934	12.2	12.6	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,484,178	13.0	11.0	11.8
減価償却費	913,868	8.0	9.0	8.8
経費	1,912,769	16.7	23.3	21.3
(うち委託料)	1,260,805	11.0	10.8	8.7
研究研修費	51,131			
資産減耗費	12,056			
(2) 医業外費用	918,003			
(うち支払利息)	411,112	3.6	1.9	1.8
(3) 特別損失	18,747			
損益				
経常損益	162,530			
純損益	153,539			
累積欠損金	5,304,526			
経常収支比率	101.3		98.7	98.7
医業収支比率	97.9		89.5	91.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.2		12.0	10.4
他会計繰入金対医業収益比率	11.4		14.0	11.8
他会計繰入金対総収益比率	10.2		12.3	10.5
実質収益対経常費用比率	91.0		86.8	88.4

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,220,807
1 固定資産	16,167,012
(1) 有形固定資産	16,037,629
(2) 無形固定資産	1,128
(3) 投資その他の資産	128,255
2 流動資産	2,053,795
(1) 現金及び預金	66,432
(2) 未収金及び未収収益	1,886,839
(3) 貸倒引当金()	1,088
(4) 貯蔵品	101,612
3 繰延資産	-
負債合計	16,793,670
1 固定負債	13,190,784
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,204,128
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,885,255
(7) リース債務	101,401
2 流動負債	3,489,164
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,524,697
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	310,742
(6) リース債務	84,441
(7) 一時借入金	550,000
(8) 未払金及び未払費用	1,019,284
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	113,722
(1) 長期前受金	169,574
(2) 長期前受金収益化累計額()	55,852
資本合計	1,427,137
1 資本金	6,633,190
2 剰余金	-5,206,053
(1) 資本金剰余金	98,473
(2) 利益剰余金	-5,304,526
負債・資本合計	18,220,807
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.1
修正医業収支金額(千円)	11,115,820

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,526,619	1,300,000
資本勘定繰入	220,543	100,000
計	1,747,162	1,400,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	46.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	豊中市
	病院名	市立豊中病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	67,544 m ²	指定病院の状況	救臨が感地輪
診療科数	24	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	599	90.9	94.7	93.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	14	0.2	-	-
計	613	88.8	92.6	91.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.5	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	395,479	
決算規模(千円)	143,121,964	
標準財政規模(千円)	81,227,672	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	10.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,465,631			
1 経常収益	18,455,631			
(1) 医業収益	16,801,960			
入院収益	11,398,683			
外来収益	4,612,135			
診療収入計	16,010,818			
その他医業収益	791,142			
(うち他会計負担金)	426,804			
(2) 医業外収益	1,653,671			
(うち国・都道府県補助金)	69,368			
(うち他会計補助・負担金)	970,833			
(うち長期前受金戻入)	436,769			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,234,032			
2 経常費用	18,234,032			
(1) 医業費用	17,276,835			
職員給与費	8,576,129	51.0	54.5	49.7
材料費	4,391,828	26.1	24.1	27.4
(うち薬品費)	2,388,167	14.2	12.6	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,860,349	11.1	11.0	12.6
減価償却費	1,305,216	7.8	9.0	8.6
経費	2,919,743	17.4	23.3	20.4
(うち委託料)	1,588,272	9.5	10.8	11.0
研究研修費	61,251			
資産減耗費	22,668			
(2) 医業外費用	957,197			
(うち支払利息)	318,563	1.9	1.9	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	221,599			
純損益	231,599			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.2		98.7	100.0
医業収支比率	97.3		89.5	93.7
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		12.0	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		14.0	10.3
他会計繰入金対総収益比率	7.6		12.3	9.1
実質収益対経常費用比率	93.6		86.8	90.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	28,361,099
1 固定資産	19,491,782
(1) 有形固定資産	18,901,382
(2) 無形固定資産	548,467
(3) 投資その他の資産	41,933
2 流動資産	8,869,317
(1) 現金及び預金	5,574,090
(2) 未収金及び未収収益	3,120,481
(3) 貸倒引当金()	39,723
(4) 貯蔵品	204,283
3 繰延資産	-
負債合計	15,998,157
1 固定負債	11,269,097
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,620,582
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	598,490
(7) リース債務	50,025
2 流動負債	3,906,272
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,302,042
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	459,555
(6) リース債務	119,619
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,957,280
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	822,788
(1) 長期前受金	1,719,332
(2) 長期前受金収益化累計額()	896,544
資本合計	12,362,942
1 資本金	11,093,374
2 剰余金	1,269,568
(1) 資本金剰余金	1,005,833
(2) 利益剰余金	263,735
負債・資本合計	28,361,099
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.8
修正医業収支金額(千円)	16,375,156

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,384,744	1,397,637
資本勘定繰入	780,029	780,029
計	2,164,773	2,177,666

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	池田市
	病院名	池田病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	38,896 m ²	指定病院の状況	救臨地輪
診療科数	21	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	364	91.2	90.1	87.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	364	91.2	90.1	87.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	13.5	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	103,069	
決算規模(千円)	34,421,932	
標準財政規模(千円)	20,762,858	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.4
	将来負担比率(%)	21.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.6
修正医業収支金額(千円)	11,021,466

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,622,436			
1 経常収益	11,622,436			
(1) 医業収益	11,268,791			
入院収益	6,831,401			
外来収益	3,845,636			
診療収入計	10,677,037			
その他医業収益	591,754			
(うち他会計負担金)	247,325			
(2) 医業外収益	353,645			
(うち国・都道府県補助金)	19,142			
(うち他会計補助・負担金)	247,368			
(うち長期前受金戻入)	7,105			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,151,876			
2 経常費用	12,151,876			
(1) 医業費用	11,415,153			
職員給与費	5,294,169	47.0	54.5	55.3
材料費	3,467,747	30.8	24.1	24.2
(うち薬品費)	2,472,155	21.9	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	902,961	8.0	11.0	11.5
減価償却費	687,448	6.1	9.0	8.8
経費	1,891,366	16.8	23.3	21.7
(うち委託料)	1,054,343	9.4	10.8	10.3
研究研修費	40,756			
資産減耗費	33,667			
(2) 医業外費用	736,723			
(うち支払利息)	283,231	2.5	1.9	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-529,440			
純損益	-529,440			
累積欠損金	17,285,896			
経常収支比率	95.6		98.7	97.6
医業収支比率	98.7		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.3		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	4.4		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	4.3		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	91.6		86.8	86.9

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,863,059
1 固定資産	14,811,398
(1) 有形固定資産	14,784,419
(2) 無形固定資産	21,179
(3) 投資その他の資産	5,800
2 流動資産	3,051,661
(1) 現金及び預金	632,881
(2) 未収金及び未収収益	2,388,007
(3) 貸倒引当金()	7,457
(4) 貯蔵品	38,230
3 繰延資産	-
負債合計	15,588,030
1 固定負債	11,368,399
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,882,989
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,483,233
(7) リース債務	2,177
2 流動負債	4,049,448
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	897,841
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	271,848
(6) リース債務	7,409
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,804,643
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	170,183
(1) 長期前受金	236,298
(2) 長期前受金収益化累計額()	66,115
資本合計	2,275,029
1 資本金	19,549,545
2 剰余金	-17,274,516
(1) 資本剰余金	11,380
(2) 利益剰余金	-17,285,896
負債・資本合計	17,863,059
不良債務	99,946
実質資金不足額	99,946
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	494,693	494,693
資本勘定繰入	635,307	635,307
計	1,130,000	1,130,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	99,946	0.9
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	153.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	吹田市
		病院名	吹田市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	86.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	86.2
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	374,468	
決算規模(千円)	121,683,648	
標準財政規模(千円)	67,708,473	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-1.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	70,113			
1 経常収益	70,113			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	70,113			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	70,113			
2 経常費用	70,113			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	53.1
材料費	-	-	24.1	25.1
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.8
減価償却費	-	-	9.0	8.8
経費	-	-	23.3	21.3
(うち委託料)	-	-	10.8	8.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	70,113			
(うち支払利息)	70,113	-	1.9	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	98.7
医業収支比率	-		89.5	91.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	10.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	11.8
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	10.5
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	88.4

備考：「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	泉大津市
	病院名	市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,313 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	22	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	230	73.3	77.5	79.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	230	73.3	77.5	79.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	10.4	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	75,897	
決算規模(千円)	29,094,160	
標準財政規模(千円)	16,875,907	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.2
	将来負担比率(%)	138.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.4
修正医業収支金額(千円)	4,958,067

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,091,758			
1 経常収益	5,724,971			
(1) 医業収益	5,086,693			
入院収益	2,968,308			
外来収益	1,624,015			
診療収入計	4,592,323			
その他医業収益	494,370			
(うち他会計負担金)	128,626			
(2) 医業外収益	638,278			
(うち国・都道府県補助金)	44,359			
(うち他会計補助・負担金)	532,160			
(うち長期前受金戻入)	6,839			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	366,787			
(うち他会計繰入金)	366,787			
総費用	5,801,861			
2 経常費用	5,782,399			
(1) 医業費用	5,481,903			
職員給与費	2,628,583	51.7	54.5	57.6
材料費	931,259	18.3	24.1	20.9
(うち薬品費)	536,718	10.6	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	394,526	7.8	11.0	9.8
減価償却費	337,281	6.6	9.0	9.3
経費	1,563,043	30.7	23.3	27.2
(うち委託料)	519,601	10.2	10.8	11.2
研究研修費	13,327			
資産減耗費	8,410			
(2) 医業外費用	300,496			
(うち支払利息)	128,555	2.5	1.9	2.1
(3) 特別損失	19,462			
損益				
経常損益	-57,428			
純損益	289,897			
累積欠損金	7,251,126			
経常収支比率	99.0		98.7	96.6
医業収支比率	92.8		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.5		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	13.0		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	16.9		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	87.6		86.8	83.9

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,605,547
1 固定資産	7,603,539
(1) 有形固定資産	7,575,722
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	27,817
2 流動資産	1,002,008
(1) 現金及び預金	106,650
(2) 未収金及び未収収益	880,183
(3) 貸倒引当金()	3,765
(4) 貯蔵品	18,940
3 繰延資産	-
負債合計	8,677,551
1 固定負債	6,948,587
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,015,841
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	750,000
(6) 引当金	1,030,510
(7) リース債務	152,236
2 流動負債	1,634,159
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	427,719
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	172,590
(6) リース債務	60,721
(7) 一時借入金	600,000
(8) 未払金及び未払費用	342,295
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	94,805
(1) 長期前受金	165,035
(2) 長期前受金収益化累計額()	70,230
資本合計	-72,004
1 資本金	7,169,122
2 剰余金	-7,241,126
(1) 資本金剰余金	10,000
(2) 利益剰余金	-7,251,126
負債・資本合計	8,605,547
不良債務	204,432
実質資金不足額	204,432
資金不足額()	72,004
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	796,896	1,027,573
資本勘定繰入	317,490	472,427
計	1,114,386	1,500,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	204,432	4.0
26年度	811,076	15.6
25年度	462,738	8.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	142.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	貝塚市
				病院名	貝塚病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,016 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	16	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 ヘ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	249	71.2	67.4	78.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	249	71.2	67.4	78.3
平均在院日数（一般病床のみ）		9.1	9.1	12.1

設立団体の状況		
人口（人）	88,694	
決算規模（千円）	30,866,282	
標準財政規模（千円）	18,085,884	
財政力指数	0.68	
経常収支比率（%）	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.2
	将来負担比率（%）	62.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	92.9
修正医業収支金額（千円）	6,062,456

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,215,655			
1 経常収益	7,039,907			
(1) 医業収益	6,287,684			
入院収益	3,661,097			
外来収益	2,231,370			
診療収入計	5,892,467			
その他医業収益	395,217			
(うち他会計負担金)	225,228			
(2) 医業外収益	752,223			
(うち国・都道府県補助金)	30,927			
(うち他会計補助・負担金)	360,674			
(うち長期前受金戻入)	300,043			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	175,748			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,954,547			
2 経常費用	6,952,197			
(1) 医業費用	6,523,840			
職員給与費	2,924,081	46.5	54.5	57.6
材料費	1,533,668	24.4	24.1	20.9
(うち薬品費)	925,048	14.7	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	564,013	9.0	11.0	9.8
減価償却費	459,356	7.3	9.0	9.3
経費	1,571,849	25.0	23.3	27.2
(うち委託料)	587,672	9.3	10.8	11.2
研究研修費	22,349			
資産減耗費	12,537			
(2) 医業外費用	428,357			
(うち支払利息)	156,930	2.5	1.9	2.1
(3) 特別損失	2,350			
損益				
経常損益	87,710			
純損益	261,108			
累積欠損金	3,749,372			
経常収支比率	101.3		98.7	96.6
医業収支比率	96.4		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	9.3		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	8.1		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	92.8		86.8	83.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	6,910,735
1 固定資産	5,475,698
(1) 有形固定資産	5,453,612
(2) 無形固定資産	3,344
(3) 投資その他の資産	18,742
2 流動資産	1,435,037
(1) 現金及び預金	363,304
(2) 未収金及び未収収益	1,086,460
(3) 貸倒引当金（ ）	57,467
(4) 貯蔵品	42,684
3 繰延資産	-
負債合計	8,522,267
1 固定負債	6,215,910
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,971,434
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	90,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,154,476
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,812,356
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	551,955
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	10,000
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	172,159
(6) リース債務	180
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,047,301
(9) 前受金及び前受収益	316
3 繰延収益	494,001
(1) 長期前受金	1,686,064
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,192,063
資本合計	-1,611,532
1 資本金	1,328,761
2 剰余金	-2,940,293
(1) 資本金剰余金	809,079
(2) 利益剰余金	-3,749,372
負債・資本合計	6,910,735
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	1,611,532
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	1,117,531
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	700,560	585,902
資本勘定繰入	329,098	429,098
計	1,029,658	1,015,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	59.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	枚方市
		病院名	市立ひらかた病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 未 訓 ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	31,824 m ²	指定病院の状況	救 臨 感 地 輪
診療科数	23	看護配置	7 : 1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	327	69.7	61.6	55.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	0.9	0.3	-
計	335	68.1	60.1	54.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	10.7	9.9

設立団体の状況		
人口(人)	404,152	
決算規模(千円)	133,028,476	
標準財政規模(千円)	76,661,007	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	0.4
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.0
修正医業収支金額(千円)	6,876,746

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,217,569			
1 経常収益	8,217,431			
(1) 医業収益	7,570,490			
入院収益	4,410,320			
外来収益	2,144,862			
診療収入計	6,555,182			
その他医業収益	1,015,308			
(うち他会計負担金)	693,744			
(2) 医業外収益	646,941			
(うち国・都道府県補助金)	18,538			
(うち他会計補助・負担金)	480,339			
(うち長期前受金戻入)	21,423			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	138			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,907,286			
2 経常費用	8,751,616			
(1) 医業費用	8,388,863			
職員給与費	4,241,515	56.0	54.5	55.3
材料費	1,293,960	17.1	24.1	24.2
(うち薬品費)	678,467	9.0	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	608,954	8.0	11.0	11.5
減価償却費	1,170,724	15.5	9.0	8.8
経費	1,660,395	21.9	23.3	21.7
(うち委託料)	915,675	12.1	10.8	10.3
研究研修費	19,179			
資産減耗費	3,090			
(2) 医業外費用	362,753			
(うち支払利息)	127,143	1.7	1.9	2.1
(3) 特別損失	155,670			
損益				
経常損益	-534,185			
純損益	-689,717			
累積欠損金	6,640,045			
経常収支比率	93.9		98.7	97.6
医業収支比率	90.2		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	14.3		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	15.5		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	14.3		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	80.5		86.8	86.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,397,714
1 固定資産	13,780,055
(1) 有形固定資産	13,685,933
(2) 無形固定資産	6,882
(3) 投資その他の資産	87,240
2 流動資産	2,617,659
(1) 現金及び預金	600,669
(2) 未収金及び未収収益	1,255,133
(3) 貸倒引当金()	7,492
(4) 貯蔵品	73,776
3 繰延資産	-
負債合計	15,719,431
1 固定負債	12,706,256
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,270,567
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,433,730
(7) リース債務	1,959
2 流動負債	2,215,661
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,089,770
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	243,137
(6) リース債務	1,383
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	804,510
(9) 前受金及び前受収益	8,928
3 繰延収益	797,514
(1) 長期前受金	832,340
(2) 長期前受金収益化累計額()	34,826
資本合計	678,283
1 資本金	7,309,137
2 剰余金	-6,630,854
(1) 資本剰余金	9,191
(2) 利益剰余金	-6,640,045
負債・資本合計	16,397,714
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,180,974	1,174,083
資本勘定繰入	541,080	546,614
計	1,722,054	1,720,697

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	87.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	八尾市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	40,470 m ²	指定病院の状況	救臨が地		
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	380	85.1	84.5	86.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	85.1	84.5	86.8
平均在院日数（一般病床のみ）		9.8	10.0	10.9

設立団体の状況		
人口（人）	268,800	
決算規模（千円）	106,815,786	
標準財政規模（千円）	54,994,876	
財政力指数	0.74	
経常収支比率（%）	98.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.4
	将来負担比率（%）	51.8

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,575,876			
1 経常収益	12,569,075			
(1) 医業収益	11,326,121			
入院収益	7,513,588			
外来収益	3,142,347			
診療収入計	10,655,935			
その他医業収益	670,186			
(うち他会計負担金)	334,217			
(2) 医業外収益	1,242,954			
(うち国・都道府県補助金)	31,281			
(うち他会計補助・負担金)	640,268			
(うち長期前受金戻入)	486,895			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,801			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,326,070			
2 経常費用	12,308,112			
(1) 医業費用	11,498,623			
職員給与費	5,190,338	45.8	54.5	55.3
材料費	2,747,149	24.3	24.1	24.2
(うち薬品費)	1,417,059	12.5	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,330,090	11.7	11.0	11.5
減価償却費	902,517	8.0	9.0	8.8
経費	2,571,805	22.7	23.3	21.7
(うち委託料)	1,806,125	15.9	10.8	10.3
研究研修費	31,241			
資産減耗費	55,573			
(2) 医業外費用	809,489			
(うち支払利息)	268,913	2.4	1.9	2.1
(3) 特別損失	17,958			
損益				
経常損益	260,963			
純損益	249,806			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.1		98.7	97.6
医業収支比率	98.5		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	8.6		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	7.7		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	94.2		86.8	86.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	22,429,022
1 固定資産	16,322,538
(1) 有形固定資産	15,911,150
(2) 無形固定資産	142
(3) 投資その他の資産	411,246
2 流動資産	6,106,484
(1) 現金及び預金	4,077,761
(2) 未収金及び未収収益	1,979,825
(3) 貸倒引当金（ ）	5,939
(4) 貯蔵品	45,654
3 繰延資産	-
負債合計	19,115,020
1 固定負債	15,284,704
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,285,541
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	885,770
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,047,447
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,065,882
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	335,677
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,595,926
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	782,869
(1) 長期前受金	2,072,871
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,290,002
資本合計	3,314,002
1 資本金	2,497,286
2 剰余金	816,716
(1) 資本金剰余金	18,025
(2) 利益剰余金	798,691
負債・資本合計	22,429,022
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	95.6
修正医業収支金額（千円）	10,991,904

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,021,026	974,485
資本勘定繰入	826,578	826,578
計	1,847,604	1,801,063

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	泉佐野市
	病院名	泉佐野病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	100,966	
決算規模(千円)	61,939,571	
標準財政規模(千円)	22,148,298	
財政力指数	0.94	
経常収支比率(%)	103.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	22.4
	将来負担比率(%)	191.6

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	299,533			
1 経常収益	299,533			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	299,533			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	299,533			
2 経常費用	299,533			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	55.3
材料費	-	-	24.1	24.2
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.5
減価償却費	-	-	9.0	8.8
経費	-	-	23.3	21.7
(うち委託料)	-	-	10.8	10.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	299,533			
(うち支払利息)	299,533	-	1.9	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	97.6
医業収支比率	-		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	100.0		86.8	86.9

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	和泉市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,058 m ²	指定病院の状況	救	臨	が
診療科数	18	看護配置	7	:	1
許可公営企業	許可	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	307	65.5	54.0	62.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	307	65.5	54.0	62.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	13.6	15.9

設立団体の状況		
人口(人)	186,109	
決算規模(千円)	57,546,695	
標準財政規模(千円)	34,119,783	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	971,518			
1 経常収益	566,121			
(1) 医業収益	9,676			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	9,676			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	556,445			
(うち国・都道府県補助金)	5,065			
(うち他会計補助・負担金)	345,968			
(うち長期前受金戻入)	16,316			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	405,397			
(うち他会計繰入金)	405,397			
総費用	768,035			
2 経常費用	759,156			
(1) 医業費用	692,037			
職員給与費	224	2.3	54.5	55.3
材料費	-	-	24.1	24.2
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.5
減価償却費	362,887	3750.4	9.0	8.8
経費	328,926	3399.4	23.3	21.7
(うち委託料)	2,994	30.9	10.8	10.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	67,119			
(うち支払利息)	50,295	519.8	1.9	2.1
(3) 特別損失	8,879			
損益				
経常損益	-193,035			
純損益	203,483			
累積欠損金	7,710,665			
経常収支比率	74.6		98.7	97.6
医業収支比率	1.4		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	61.1		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	3575.5		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	77.3		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	29.0		86.8	86.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,783,129
1 固定資産	3,631,011
(1) 有形固定資産	3,631,011
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	152,118
(1) 現金及び預金	123,582
(2) 未収金及び未収収益	39,925
(3) 貸倒引当金()	11,389
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,449,306
1 固定負債	2,622,593
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,118,873
(2) その他の企業債	503,720
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	771,391
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	367,934
(2) その他の企業債	251,860
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	141,017
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	55,322
(1) 長期前受金	88,518
(2) 長期前受金収益化累計額()	33,196
資本合計	333,823
1 資本金	6,575,590
2 剰余金	-6,241,767
(1) 資本剰余金	1,468,898
(2) 利益剰余金	-7,710,665
負債・資本合計	3,783,129
不良債務	251,339
実質資金不足額	251,339
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.4
修正医業収支金額(千円)	9,676

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	432,636	751,365
資本勘定繰入	206,714	482,168
計	639,350	1,233,533

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	251,339	2597.6
26年度	670,203	8389.1
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	79688.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	743,670
地財法上の資金不足比率(%)	7685.7

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	箕面市
	病院名	市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	34,067 m ²	指定病院の状況	救臨 地 輪
診療科数	21	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	317	90.5	90.8	95.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	317	90.5	90.8	95.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.0	11.0	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	133,411	
決算規模(千円)	42,031,747	
標準財政規模(千円)	25,604,691	
財政力指数	0.95	
経常収支比率(%)	88.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.9
修正医業収支金額(千円)	8,390,632

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,591,498			
1 経常収益	8,576,641			
(1) 医業収益	8,390,632			
入院収益	5,869,367			
外来収益	2,248,329			
診療収入計	8,117,696			
その他医業収益	272,936			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	186,009			
(うち国・都道府県補助金)	19,936			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	52,322			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,857			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,004,319			
2 経常費用	8,978,494			
(1) 医業費用	8,658,073			
職員給与費	4,615,697	55.0	54.5	55.3
材料費	1,633,424	19.5	24.1	24.2
(うち薬品費)	765,053	9.1	12.6	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	809,287	9.6	11.0	11.5
減価償却費	649,611	7.7	9.0	8.8
経費	1,723,074	20.5	23.3	21.7
(うち委託料)	760,463	9.1	10.8	10.3
研究研修費	29,360			
資産減耗費	6,907			
(2) 医業外費用	320,421			
(うち支払利息)	10,638	0.1	1.9	2.1
(3) 特別損失	25,825			
損益				
経常損益	-401,853			
純損益	-412,821			
累積欠損金	7,714,125			
経常収支比率	95.5		98.7	97.6
医業収支比率	96.9		89.5	90.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.0	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	12.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	11.4
実質収益対経常費用比率	95.5		86.8	86.9

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,227,111
1 固定資産	11,197,709
(1) 有形固定資産	11,167,543
(2) 無形固定資産	1,186
(3) 投資その他の資産	28,980
2 流動資産	3,029,402
(1) 現金及び預金	1,628,016
(2) 未収金及び未収収益	1,370,460
(3) 貸倒引当金()	16,880
(4) 貯蔵品	47,806
3 繰延資産	-
負債合計	4,366,841
1 固定負債	1,872,744
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	193,994
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,678,750
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,500,004
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	72,950
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	373,415
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,017,617
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	994,093
(1) 長期前受金	1,094,271
(2) 長期前受金収益化累計額()	100,178
資本合計	9,860,270
1 資本金	16,162,929
2 剰余金	-6,302,659
(1) 資本剰余金	1,406,466
(2) 利益剰余金	-7,709,125
負債・資本合計	14,227,111
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	262,488	270,988
計	262,488	270,988

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	91.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	柏原市
	病院名	市立柏原病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	220	81.3	73.9	73.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	220	81.3	73.9	73.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	15.6	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	71,112	
決算規模(千円)	25,758,105	
標準財政規模(千円)	14,932,745	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	96.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	19.4

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	18,350 m ²	指定病院の状況	救臨
診療科数	17	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.6
修正医業収支金額(千円)	4,085,492

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,004,581			
1 経常収益	4,631,028			
(1) 医業収益	4,152,321			
入院収益	2,808,786			
外来収益	1,075,913			
診療収入計	3,884,699			
その他医業収益	267,622			
(うち他会計負担金)	66,829			
(2) 医業外収益	478,707			
(うち国・都道府県補助金)	1,785			
(うち他会計補助・負担金)	307,940			
(うち長期前受金戻入)	139,032			
(うち資本費繰入収益)	12,494			
(3) 特別利益	373,553			
(うち他会計繰入金)	335,499			
総費用	4,631,028			
2 経常費用	4,631,028			
(1) 医業費用	4,366,682			
職員給与費	2,128,240	51.3	54.5	57.6
材料費	930,621	22.4	24.1	20.9
(うち薬品費)	539,524	13.0	12.6	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	352,691	8.5	11.0	9.8
減価償却費	242,719	5.8	9.0	9.3
経費	1,056,271	25.4	23.3	27.2
(うち委託料)	481,734	11.6	10.8	11.2
研究研修費	6,288			
資産減耗費	2,543			
(2) 医業外費用	264,346			
(うち支払利息)	110,146	2.7	1.9	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	373,553			
累積欠損金	1,384,584			
経常収支比率	100.0		98.7	96.6
医業収支比率	95.1		89.5	86.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		12.0	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	9.0		14.0	15.7
他会計繰入金対総収益比率	14.2		12.3	13.9
実質収益対経常費用比率	91.9		86.8	83.9

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,290,385
1 固定資産	5,982,280
(1) 有形固定資産	5,762,688
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	219,592
2 流動資産	1,308,105
(1) 現金及び預金	258,720
(2) 未収金及び未収収益	1,048,592
(3) 貸倒引当金()	11,190
(4) 貯蔵品	11,983
3 繰延資産	-
負債合計	7,875,760
1 固定負債	5,481,463
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,654,397
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	827,066
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,761,812
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	303,333
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	139,184
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	920,000
(8) 未払金及び未払費用	394,947
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	632,485
(1) 長期前受金	5,544,090
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,911,605
資本合計	-585,375
1 資本金	667,261
2 剰余金	-1,252,636
(1) 資本剰余金	131,948
(2) 利益剰余金	-1,384,584
負債・資本合計	7,290,385
不良債務	150,374
実質資金不足額	150,374
資金不足額()	585,375
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	559,359	710,268
資本勘定繰入	164,810	680,908
計	724,169	1,391,176

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	150,374	3.6
26年度	1,050,616	28.2
25年度	511,424	14.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	藤井寺市
	病院名	市立藤井寺市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	98	83.7	83.8	85.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	83.7	83.8	85.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.2	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	65,438	
決算規模(千円)	23,076,220	
標準財政規模(千円)	13,860,102	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	99.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.8
	将来負担比率(%)	29.9

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	5,423 m ²	指定病院の状況	臨
診療科数	9	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.0
修正医業収支金額(千円)	2,506,394

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,627,544			
1 経常収益	2,627,544			
(1) 医業収益	2,506,394			
入院収益	1,219,583			
外来収益	1,202,353			
診療収入計	2,421,936			
その他医業収益	84,458			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	121,150			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	109,992			
(うち長期前受金戻入)	662			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,755,104			
2 経常費用	2,755,104			
(1) 医業費用	2,638,824			
職員給与費	1,197,364	47.8	54.5	66.5
材料費	1,027,181	41.0	24.1	18.1
(うち薬品費)	868,927	34.7	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	139,415	5.6	11.0	5.6
減価償却費	175,517	7.0	9.0	11.3
経費	228,885	9.1	23.3	30.5
(うち委託料)	137,144	5.5	10.8	11.7
研究研修費	8,050			
資産減耗費	1,827			
(2) 医業外費用	116,280			
(うち支払利息)	19,444	0.8	1.9	2.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-127,560			
純損益	-127,560			
累積欠損金	1,753,263			
経常収支比率	95.4		98.7	97.7
医業収支比率	95.0		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	4.2		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	4.4		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	4.2		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	91.4		86.8	76.6

備考:
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,722,311
1 固定資産	1,573,099
(1) 有形固定資産	1,572,934
(2) 無形固定資産	165
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,149,212
(1) 現金及び預金	737,232
(2) 未収金及び未収収益	400,575
(3) 貸倒引当金()	2,221
(4) 貯蔵品	13,626
3 繰延資産	-
負債合計	1,944,296
1 固定負債	1,437,378
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	896,371
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	541,007
(7) リース債務	-
2 流動負債	499,669
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	172,955
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,775
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	261,939
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,249
(1) 長期前受金	17,607
(2) 長期前受金収益化累計額()	10,358
資本合計	778,015
1 資本金	2,469,550
2 剰余金	-1,691,535
(1) 資本剰余金	61,728
(2) 利益剰余金	-1,753,263
負債・資本合計	2,722,311
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	109,992	109,992
資本勘定繰入	86,099	86,099
計	196,091	196,091

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	70.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27 年度)				都道府県名	大阪府
				市町村・組合名	東大阪市
				病院名	総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,361 m ²	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
診療科数	27	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	547	79.4	71.3	68.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	547	79.4	71.3	68.8
平均在院日数（一般病床のみ）		11.7	11.9	12.3

設立団体の状況		
人口（人）	502,784	
決算規模（千円）	205,784,591	
標準財政規模（千円）	107,066,443	
財政力指数	0.74	
経常収支比率（%）	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	4.9
	将来負担比率（%）	2.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	94.3
修正医業収支金額（千円）	12,760,440

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,914,236			
1 経常収益	13,914,236			
(1) 医業収益	12,885,194			
入院収益	8,617,753			
外来収益	3,837,923			
診療収入計	12,455,676			
その他医業収益	429,518			
(うち他会計負担金)	124,754			
(2) 医業外収益	1,029,042			
(うち国・都道府県補助金)	33,392			
(うち他会計補助・負担金)	830,387			
(うち長期前受金戻入)	17,019			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,451,731			
2 経常費用	14,451,731			
(1) 医業費用	13,529,643			
職員給与費	6,739,598	52.3	54.5	49.7
材料費	3,221,178	25.0	24.1	27.4
(うち薬品費)	1,895,006	14.7	12.6	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,323,566	10.3	11.0	12.6
減価償却費	833,206	6.5	9.0	8.6
経費	2,680,656	20.8	23.3	20.4
(うち委託料)	1,761,912	13.7	10.8	11.0
研究研修費	48,477			
資産減耗費	6,528			
(2) 医業外費用	922,088			
(うち支払利息)	265,497	2.1	1.9	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-537,495			
純損益	-537,495			
累積欠損金	18,031,219			
経常収支比率	96.3		98.7	100.0
医業収支比率	95.2		89.5	93.7
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		12.0	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	7.4		14.0	10.3
他会計繰入金対総収益比率	6.9		12.3	9.1
実質収益対経常費用比率	89.7		86.8	90.9

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	16,872,748
1 固定資産	11,736,926
(1) 有形固定資産	11,632,615
(2) 無形固定資産	24,461
(3) 投資その他の資産	79,850
2 流動資産	4,808,879
(1) 現金及び預金	2,552,178
(2) 未収金及び未収収益	2,311,529
(3) 貸倒引当金（ ）	118,799
(4) 貯蔵品	63,971
3 繰延資産	326,943
負債合計	16,606,804
1 固定負債	12,929,834
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,986,478
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,941,144
(7) リース債務	2,212
2 流動負債	3,446,446
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,543,784
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	394,820
(6) リース債務	1,140
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,479,041
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	230,524
(1) 長期前受金	697,314
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	466,790
資本合計	265,944
1 資本金	18,275,363
2 剰余金	-18,009,419
(1) 資本剰余金	21,800
(2) 利益剰余金	-18,031,219
負債・資本合計	16,872,748
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	955,141	955,141
資本勘定繰入	844,859	844,859
計	1,800,000	1,800,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	139.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (27年度)	都道府県名	大阪府
	市町村・組合名	阪南市
	病院名	阪南市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	185	72.9	79.5	68.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	185	72.9	79.5	68.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.1	17.4	17.3

設立団体の状況		
人口(人)	54,276	
決算規模(千円)	18,640,627	
標準財政規模(千円)	10,888,033	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	97.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	59.2

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	14,965 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	21	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.7
修正医業収支金額(千円)	10,106

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	467,808			
1 経常収益	319,473			
(1) 医業収益	10,106			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	10,106			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	309,367			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	181,930			
(うち長期前受金戻入)	39,868			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	148,335			
(うち他会計繰入金)	148,335			
総費用	496,200			
2 経常費用	496,200			
(1) 医業費用	372,591			
職員給与費	-	-	54.5	58.9
材料費	-	-	24.1	18.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	7.4
減価償却費	189,213	1872.3	9.0	9.6
経費	183,378	1814.5	23.3	30.8
(うち委託料)	10,476	103.7	10.8	12.1
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	123,609			
(うち支払利息)	42,896	424.5	1.9	2.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-176,727			
純損益	-28,392			
累積欠損金	3,768,878			
経常収支比率	64.4		98.7	98.1
医業収支比率	2.7		89.5	84.8
他会計繰入金対経常収益比率	56.9		12.0	15.1
他会計繰入金対医業収益比率	1800.2		14.0	18.6
他会計繰入金対総収益比率	70.6		12.3	15.7
実質収益対経常費用比率	27.7		86.8	83.3

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,194,387
1 固定資産	3,009,495
(1) 有形固定資産	3,007,762
(2) 無形固定資産	1,733
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	184,892
(1) 現金及び預金	179,331
(2) 未収金及び未収収益	5,561
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,133,987
1 固定負債	2,798,606
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,798,606
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	122,702
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	105,015
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,000
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	212,679
(1) 長期前受金	322,679
(2) 長期前受金収益化累計額()	110,000
資本合計	60,400
1 資本金	2,562,892
2 剰余金	-2,502,492
(1) 資本剰余金	1,266,386
(2) 利益剰余金	-3,768,878
負債・資本合計	3,194,387
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	156,455	330,265
資本勘定繰入	50,686	128,062
計	207,141	458,327

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	54,858	566.3
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37293.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (27年度)		都道府県名	大阪府
		市町村・組合名	忠岡町
		病院名	公立忠岡病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	27年度	26年度	25年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	17,298	
決算規模(千円)	6,454,728	
標準財政規模(千円)	4,181,285	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	113.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	19.7
	将来負担比率(%)	111.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,101			
1 経常収益	1,101			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,101			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,101			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,101			
2 経常費用	1,101			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	54.5	66.5
材料費	-	-	24.1	18.1
(うち薬品費)	-	-	12.6	11.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	-	-	9.0	11.3
経費	-	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	10.8	11.7
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	1,101			
(うち支払利息)	1,101	-	1.9	2.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.7	97.7
医業収支比率	-		89.5	78.7
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.0	21.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.0	28.7
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.3	22.0
実質収益対経常費用比率	-		86.8	76.6

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	1,101
資本勘定繰入	-	26,010
計	-	27,111

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
27年度	-	-
26年度	-	-
25年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。